

図書館からのお知らせ

～ 今月のおすすめ本 ～

・「限りなく少なく」豊かに生きる

ドミニック・ローホー 著
物余りの時代必要最小限の物でシンプルな生活を営むことを提唱している著者の生き方が短い文章で紹介されています。



この本を読んで何がいらぬのか、何が大切なのかを見直してみませんか？

・ランドセル俳人の五・七・五

小林 凜 著
小さな体で生まれ、そのことで壮絶ないじめに合い不登校になった少年を支えたのは俳句でした。



小学生の時「朝日俳壇」に作品が掲載され、その豊かな感性に多くの著名人からも推薦・絶賛された一冊です。

和紙の里

一和紙の里は宿泊ができます！

* 宿泊料金のご案内 *

大人：6,000円

小人：4,500円

(1泊2食付き)

上記の料金で宿泊予約を承っております。
ぜひこの機会に、受け継がれてきた手すき和紙『細川紙』の技術にふれ、自然の豊さに癒されてください！

★ご予約・お問合せはこちらまで↓

東秩父村和紙の里 ☎82-1468



東秩父俳句会

文

芸

白石短歌会

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------------------------|------------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|--|
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 庭先の水仙蕾ふえにけり
田村 好子 | 天高く新緑の風さわやかに
真鯉俳鯉の舞う雄大さ
渡邊 京子 |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 日溜りに友と二人や桜餅
馬場 芳 | テレビ消しじつと眼を閉じ寝て
居れば
鶯の声しじまに冴える
渡邊美枝子 |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 枝垂桜枝の先までひらきけり
飯野はつ志 | 心労のいかばかりならむ孫娘
初めてのピアノ発表会は
坂本 美江 |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 鶯の声に目覚めてすがすがし
鈴木 啓子 | 背戸の山真赤に染める山つつじ
彼の日植えたり亡き人徳ぶ
白石 礼子 |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 空青し花のトンネル抜けにけり
野口利江子 | 鯉のぼりのはためく音を聞きな
がら
土を整えトマトを植える
渡邊阿里子 |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 赤き根の春筍や香りよし
関口 侑子 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 村道の桜に雪の降り来たり
関口 真吾 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | むすび食ぶ二番札所や桜舞ふ
高野 利雄 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 人住まぬ庭八重桜圧倒す
岡部富美子 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 石楠花や蕾先より紅ほぐる
土屋 厚子 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | たんぽぽに朝日の当り聞きさる
初雁 功子 | |
| 春の雨上り前山霧のぼる
飯野 トヨ | ひよどり来桜房ごと落ちにけり
河西カナメ | 桜散る道路ピンクや和紙の里
土屋 寿子 | 前山の木木に春風村日和
富田 とり | 分校の桜娘と孫と見に
大久根ケフ | 春雨やなだらかに山並ぶ里
高橋 きみ | 山開き峠にひまぐ太鼓の音
富田 公子 | 鐘樓の影を映して田水澄む
篠澤 ひこ | 花菖蒲畦に朽ちたる渡し板
笠原 勝子 | 新緑や七峰越える足つよし
宮崎 昌子 | 登り来るハイカーの声風光る
鈴木まさよし | 若葉風山の匂いを運び来る
小林 梢月 | 屈みては土筆摘みけり休耕田
山田 美子 | |

